

夏休み福祉体験講座を開催しました

車いす体験 乗っている人の気持ちになって介助しました。



車いすで道路に出てみました。歩いている時は気にならない段差や点字ブロックも、車いすに乗っていると思った以上に揺れます。できるだけデコボコした道を選べて歩きました。

車いすを自分で操作しました。道路が斜めになっているため、まっすぐ走ることでも大変です。車いすで生活している方々の大変さを実感しました。

高齢者疑似体験 お年寄りはどんなことが大変で自分の体とどう違うのかな？



自動販売機で飲み物を買う体験をしました。財布からお金を出し、投入口にお金を入れて飲み物のボタンを押しました。すべての動作に時間がかかります。



ぬり絵の体験をしました。字がぼやけたり、かすんだり、色えんぴつの色もわかりにくいですね。色ぬりするの、手が動かしづらく大変ですね。



お話を聞き取る体験をしました。聞こえにくく、音がぼやけますね。聞き取るためには？
近づいて繰り返し繰り返し、聞き取りました。お年寄りになるとこんな風に聞こえるんだね。

福祉用具展示場見学 どんな工夫がされているだろう？どのように使うの？



助听器を試してみました。小さな音でもひろってくれるので、よく聞こえます。使いたい時だけ、耳元に当てます。



ユニバーサルデザインについて学びました。誰もが使いやすく、わかりやすいデザインです。福祉用具にもユニバーサルデザインの考えが生かされています。



いす式階段昇降機に乗ってみました。お年寄りや障がいを持った人でも、自分で操作して、上の階に移動できますね。



ベッドの上で生活している人が手が届かない場所にある物を取るなど、このマジックハンドを使うと、人の手を借りなくても欲しいものに届きます。カーテンの開閉もできます。また、ティッシュペーパーも一枚ずつとれ、持ち手部分は磁石がついているので、クリップ（金属製）も簡単に集められます。

体験の感想

- ・車いす体験では、乗っている人が安心できるような声かけをすることが大切だとわかりました。
- ・お年寄りの方の体の動きにくさがわかりました。電車やバスでは席をゆずろうと思います。
- ・たくさんの福祉用具に触れ、できないことを助けてくれる工夫がされていることがわかりました。